



舞台芸術の鑑賞と表現における社会参加の課題と提言

厚生労働省

平成25年度障害者総合福祉推進事業

# 舞台芸術の鑑賞と表現における社会参加の課題と提言

特定非営利活動法人日本バリアフリー協会

平成26年3月

特定非営利活動法人日本バリアフリー協会

---

厚生労働省 平成 25 年度障害者総合福祉推進事業  
「舞台芸術の鑑賞と表現における社会参加の課題と提言」

報告書目次

概要

1 章 障がい者が舞台芸術を「観客として鑑賞する」

(1)一般催事における配慮の現状

- ①一般催事の主催者への聞き取り調査、分析
- ②催事の施設管理者への書面によるアンケート調査
- ③催事の施設の現地聞き取り調査
- ④催事の施設について分析

(2)障がい者が舞台芸術を「観客として鑑賞する」際のニーズ

- ①書面によるアンケート調査
- ②対面による聞き取り調査
- ③ニーズ調査の分析

(3) 合理的配慮についての分析と提案

- ①合理的配慮とは？
- ②舞台芸術における合理的配慮
- ③分析と提案

2 章 障がい者が舞台芸術の「表現者として演ずる」

(1) 「表現者として演ずる」場合の施設の現状

- ①施設管理者への書面によるアンケート調査
- ②施設の現地聞き取り調査
- ③分析

(2) 障がい者が舞台芸術の「表現者として演ずる」際のニーズ

- ①書面によるアンケート調査
- ②対面による聞き取り調査
- ③分析

---

### **(3) 障がい者が舞台芸術の「表現者として演ずる」催事**

- ① ゴールドコンサート
- ② とっておきの音楽祭
- ③ わたぼうし音楽祭
- ④ 国際障害者ピアノフェスティバル 概要説明
- ⑤ クプナ・フラフェスティバル

### **(4) ワークショップの報告**

### **(5) 観客の意識の現状**

実行委員

研究代表者略歴

## 概要

### 現状と課題

本事業により、我が国の舞台芸術の鑑賞と表現における社会参加の現状は、我が国が批准している国連の障害者権利条約<sup>1</sup>の基準、また先進諸国の例と較べるとかなり遅れていることが明らかになった。

「鑑賞」においては特にソフト面が、「表現」においてはソフト、ハード両面においてその傾向が目立った。

全体を通しての最大の課題は、表現者が日常生活、表現活動をする上で、外出時のサポートから、ステージへの登壇まであらゆる段階で社会的障壁があるために、著しく限られた活動しかできないという点である。そのため、表現はバンドやチームで行うのではなく、どちらかというパソコンによる打ち込み、持ち歩きの出来る楽器の使用など、個人の限られた方法の人が多いようである。

「鑑賞」における最大の課題は、障がいをもつ鑑賞者の権利がそうでない者と較べて認められていないということである。顕著な例として、車いすの鑑賞者が同じ料金を支払っても、事前に指定席を確保できない仕組みになっているために、同行者全員と同じエリアで鑑賞することができないというものがある。

---

#### **1 障害者権利条約 (Convention on the Rights of Persons with Disabilities)**

2006年12月13日に国連総会において採択、2008年5月3日発効された。日本は2007年9月28日に、高村正彦外務大臣（当時）がこの条約に署名し、2014年1月20日に、批准書を寄託している。

障害者権利条約は、障害者の人権及び基本的自由の享有を確保し、障害者の固有の尊厳の尊重を促進することを目的として、障害者の権利の実現のための措置等について定める条約。

主に、(1) 一般原則（障害者の尊厳、自律及び自立の尊重、無差別、社会への完全かつ効果的な参加及び包容等）、(2) 一般的義務（合理的配慮の実施を怠ることを含め、障害に基づくいかなる差別もなしに、すべての障害者のあらゆる人権及び基本的自由を完全に実現することを確保し、及び促進すること等）、(3) 障害者の権利実現のための措置（身体的自由、拷問の禁止、表現の自由等の自由権的権利及び教育、労働等の社会権的権利について締約国がとるべき措置等を規定。社会権的権利の実現については漸進的に達成することを許容）、(4) 条約の実施のための仕組み（条約の実施及び監視のための国内の枠組みの設置。障害者の権利に関する委員会における各締約国からの報告の検討）、となっている。

（参考資料：「外務省」[http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/jinken/index\\_shogaisha.html](http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/jinken/index_shogaisha.html)）

## 政策提言

これらを踏まえて、我が国の障がい者が国連の障害者権利条約を基準として、舞台芸術を他の者と平等な社会環境を達成するために、優先順位をつけ 4 つの政策提言をしたい。

### 【提言 1】 「鑑賞」における合理的配慮についてのガイドラインの策定

舞台芸術を表現するためには、他者の表現を生で見参考にし、刺激を受ける必要があるのは自明のことである。

よってまず「鑑賞」において、これまで主催者によって違ってきた合理的配慮<sup>2</sup>についてルールを決めることを【提言 1】としたい。例えば、ツアーやロングランなどによる多数公演の場合、そのうちの 1 公演は、パソコン文字通訳、または手話通訳を行い聴覚障がい者でも鑑賞できるようにするというものである。または、催事のプログラムについてはテキストデータを備え、希望する視覚障がい者に配布することも挙げられる。あるいは、車いす席の周囲の一般の指定席を同行者の優先席としてブロックすること等もある。

これらは昨年成立した「障害者差別解消法<sup>3</sup>」の枠組みの中で、ガイドラインとして標準化を図ることが当面の目標となろう。

なお、エンターテインメントを「観る」という意味では、スポーツ観戦における合理的配慮の是非についても多くの部分が重複する。2020 年の東京オリンピック、パラリンピックに向けて、国連の障害者権利条約を批准した先進国として「観る」際の一流のルールをつくるべきであろう。

### 【提言 2】 「利用者自薦のパーソナルアシスタント」制度の創設

次に、障がい者が、舞台芸術を表現することそのものについてだが、議論を 2 つに分ける必要がある。

障がい者が社会参加をするための課題、および舞台芸術の分野における独特の課題である。このうち、前者について「利用者自薦のパーソナルアシスタント」制度の創設を【提言

---

#### <sup>2</sup> 合理的配慮

「合理的配慮」とは、障害者が他の者との平等を基礎として全ての人権及び基本的自由を享有し、又は行使することを確保するための必要かつ適当な変更及び調整であって、特定の場合において必要とされるものであり、かつ、均衡を失した又は過度の負担を課さないものをいう。

#### <sup>3</sup> 障害差別解消法

平成 25 年法律第 65 号、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」の略。2013 年 6 月 19 日成立。2016 年より施行。障がいを理由とした差別や権利侵害の禁止、合理的配慮への取り組み、国が差別や権利侵害を防止するための啓発や知識の拡散に努めなければならない、といったことを定めている。(参考資料：日本障害フォーラム (JDF) (2013) 『障害者差別解消法って何?』)

2]としたい。現在の介護制度は業者が利用者に介護人・ガイドヘルパー・手話通訳者（以下、介助者）を派遣するという形になっている。この制度だと、予め計画された時間にしか介助者が派遣されないため、利用者が柔軟に利用して外出することができない。また、介助者の不足、事業所の経営困難などの理由から、性別、年齢も含めたいわゆる相性というのが、ほとんど考慮されないため、利用者にとって満足な介助者を得ることは非常に難しい。

「利用者自薦のパーソナルアシスタント」制度であれば、この課題が解決される。この制度は、介助者の管理能力のある利用者は、自分が推薦（自薦）する介助者を行政機関に登録し、直接連絡を取り自ら研修指導をし、介助を得るというものであり、欧米では一般的になっている。これにより、利用者本人の利便性、効用が高く、行政が負担する事業所の管理料が削減され、大幅に社会的コストが低減する。

舞台芸術活動のように不定期に行う傾向の強い社会参加については、この「利用者自薦のパーソナルアシスタント」制度がさらに必要になる。

また、現行の障害者総合福祉法<sup>4</sup>に定める我が国の介護制度においては、就業中、就学中、通勤・通学等の際は原則として介護サービスが受けられない。この「利用者自薦のパーソナルアシスタント」制度は、他の先進諸国がそうであるように生活のすべての場面において利用できることが望ましい。

なお、ここでは、介護制度を「利用者自薦のパーソナルアシスタント」制度のみにするのではなく、現行制度かどちらかを利用者が選択できるしくみを提言している。

### **[提言 3] 中小規模の舞台芸術の施設、および民間施設への助成金制度の創設**

障がい者が社会参加をするための課題解決に向けてもう 1 点提言する。

我が国の現行のバリアフリー法においては、公共性が高い大規模で新しい施設を中心にバリアフリー化を進める方針である。そのため、公共交通機関や巨大な複合施設が集中する大都市において、世界でも最もバリアフリー化が進んだ地域の 1 つとなった。

しかし、既存の中小規模の民間のレストランや店舗については、規制はないに等しく、

---

#### **4 障害者総合福祉法**

平成 21(2009)年 12 月、障害者権利条約の締結に必要な国内法の整備を始めとする障害者に係る制度の集中的な改革が、障害者権利条約の基本精神である「私たち抜きに私たちのことを決めるな！」(Nothing about us without us!)にのっとり進められ始めた。

障害者福祉法は「応益負担を原則とする現行の障害者自立支援法(平成 17 年法律第 123 号)を廃止し、制度の谷間のない支援の提供、個々のニーズに基づいた地域生活支援体系の整備等を内容とする法律。25 年 8 月までの施行を目指している。

(参考資料：『障害者総合福祉法の骨格に関する総合福祉部会の提言—新法の制定を目指して—』〈厚生労働省〉：<http://www.mhlw.go.jp/bunya/shougaihoken/sougoufukusi/dl/0916-1a.pdf>)

非常に遅れているのが現状である。このような施設においては、簡易なスロープの設置や改修で比較的成本をかけずにバリアフリー化を進めることができる。規制の強化もある程度必要であるが、まずは民間の商用施設が行う比較的成本の安いバリアフリー改修に対して、確固とした助成制度を創ることを提言したい。

施設管理者が自主的に改修を行ない、低コストでバリアフリー化が進めていくことこそ真に求められている街づくりの姿であり、障がい者の社会参加にとって必要なものである。

#### **[提言 4] 楽屋、舞台のバリアフリー化促進**

最後に、舞台芸術「表現」の分野における独特の課題についての解決の提言をしたい。舞台芸術が「表現」可能な会場のバリアフリー<sup>5</sup>化については、「鑑賞」するための客席については著しく整備されているが、楽屋や舞台においては整備が非常に遅れているという分析結果が認識された。すなわち、障がい者が舞台に出場するという前提が、会場の管理者にとってそもそも希薄だという意識レベルである。

障がい者が、観客として観るというサービスの利用者となるだけでなく、表現者として演ずるサービスの提供者となることこそが、真に社会参加である。

楽屋、舞台についてもバリアフリー法<sup>6</sup>の遵守はもちろん、バリアフリー化に伴う補助金の拠出を含めて行政が努力義務の促進を図っていくことを[提言 4]としたい。

---

#### **5 バリアフリー**

バリアフリー (Barrier free) とは、障害者や高齢者という社会的弱者と言われる立場の人々が、社会生活を送る上で支障となる物理的な障害や、精神的な障壁を取り除くための施策、若しくは具体的に障害を取り除いた事物および状態を指す用語。

#### **6 バリアフリー法 (高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律)**

平成 18 年 6 月 21 日法律第 91 号。高齢者、障害者等の自立した日常生活及び社会生活を確保することの重要性にかんがみ、公共交通機関の旅客施設及び車両等、道路、路外駐車場、公園施設並びに建築物の構造及び設備を改善するための措置、一定の地区における旅客施設、建築物等及びこれらの間の経路を構成する道路、駅前広場、通路その他の施設の一体的な整備を推進するための措置その他の措置を講ずることにより、高齢者、障害者等の移動上及び施設の利用上の利便性及び安全性の向上の促進を図り、もって公共の福祉の増進に資することを目的とする」(引用：<法令データ提供システム e-Gov (イーガブ) <http://law.e-gov.go.jp/cgi-bin/idxsearch.cgi>>

## 1章 障がい者が舞台芸術を「観客として鑑賞する」

本章においては、障がい者が舞台芸術を「観客として鑑賞する」際の課題を整理するために、(1)一般催事の主催者、会場の管理者における配慮の現状として、関係者からアンケートおよび現地聞き取り調査をし、(2)障がい者が舞台芸術を「観客として鑑賞する」際のニーズとして、当事者からアンケートおよび聞き取り調査をし、(3)合理的配慮についての分析と提案をする。

### (1)一般催事における配慮の現状

本節においては、大規模な一般催事的主催者、および主に企画、制作を行う大手プロモーターを対象に聞き取り調査を行った。

#### ①一般催事的主催者への聞き取り調査、分析

一般催事の主催者については、我が国で有名かつ最大規模のイベントを企画運営する2団体を選択し、これまで培ったネットワークを利用して依頼した。調査対象は次の2社に属する方である。

##### ●株式会社スマッシュ

FUJI ROCK FESTIVAL（フジロック）を主催

##### ●株式会社クリエイティブマンプロダクション

SUMMER SONIC（サマーソニック）を主催：

調査の内容は、主に障がいをもつ観客の受け入れ、配慮についてである。

#### 1) FUJI ROCK FESTIVAL（フジロック）

調査対象者は、主催者の株式会社スマッシュの方である。初回から関わっていて、かなり造詣が深い方である。

まず、この催事の概要は以下のようなものである。

---

1997年、山梨県富士天神山スキー場で初開催された。1999年より、毎年7月下旬または8月上旬、新潟県湯沢町の苗場スキー場で開催されている。

日本のロック・フェスティバルの先駆けであり、広大な会場に国内外200組以上のミュージシャンが揃う日本最大規模の野外音楽イベント。

会場は周囲を山林に囲まれた大自然の中にあるため、ライブを鑑賞するだけでなく、森林浴やキャンプといったアウトドアを満喫する行楽イベントという意味も含めた「フェ

スそのものを楽しむ」ために来場する客も多い。

ロックフェスでありながら 40 代から 50 代の中年層客も多く、逆に 10 代から 20 代前半の若者は他のフェスに比べると若干少ないのが特徴でもある。

出演するアーティストもそれらに合わせ、他の国内ロック・フェスティバルに比べるとよりコアでジャンルレスな音楽ファン向けが多い傾向が見られる。

(参考資料：「Wikipedia」

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%95%E3%82%B8%E3%83%AD%E3%83%83%E3%82%AF%E3%83%BB%E3%83%95%E3%82%A7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%82%A3%E3%83%90%E3%83%AB>)

この催事について印象的だったのは次の語り。「大自然って素晴らしい。音楽も素晴らしい。このマッチングで皆ハッピー天国とかいう言葉を使う訳ですが、むしろ 1 年間皆さん背負って来たものを下ろして。素の自分になれているんじゃないかと思うんですよね。」

会場がスキー場であり、天気も不安定なことから、車いす使用者にとっては比較的観客として参加することは難しい。ただ、一部の通路は主催者がアスファルトを敷いているため、車いすでもある程度移動しやすいということである。また、上記語りにもあるような野外の独特の良さを感じたいのは、障がい者であっても変わらない。

次に、障がいをもつ観客の受け入れ、配慮についてである。

基本的には、障がいをもつ観客を受け入れる方針で、可能な限りサポートをするようにしているとのことである。

主な配慮は、少し高台になっている音響オペレーションブースの一部、およびステージ後方のスロープ付きの雑壇（最大で車いす約 10 台分）を準備し、の車いす使用者に提供する。他の観客が立ち上がるとステージが見えなくなるので、そのための配慮である。

200 人ほど収容できるプライオリティーテントを設け、障がい者、妊婦、未就学児童及びその保護者が利用できるようになっている。

また、バリアフリートイレも何か所か用意している。

ホームページには上記のことについてかなりくわしく記している。

## 2)SUMMER SONIC (サマーソニック)

調査対象者は、主催者の株式会社クリエイティブマンプロダクションのお 2 方である。

まず、この催事の概要は以下のようなものである。

2000 年より開催されている。

2000 年は山梨と大阪、2001 年以降は千葉と大阪の 2 箇所で開催され出演アーティスト

トを入れ替えるという手法がとられている。

「都市型」にふさわしい商業性を全面に押し出した勢い偏重のパワーあふれるフェスとなっている。

基本的にジャンルレスであり、近年は規模の拡大と共に J-POP・アイドルユニットも出演しており、観客の年齢層は日本の音楽フェスティバルの中でも幅広い部類である。

(参考資料 : 「Wikipedia」

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%B5%E3%83%9E%E3%83%BC%E3%82%BD%E3%83%8B%E3%83%83%E3%82%AF>)

この催事について印象的だったのは次の語り。「東京と大阪それぞれの中心地からアクセスがしやすかったりとか、ライブを見る環境、屋内のステージでそんなに暑くなくというか快適に楽しめるって言う所を我々としてのアピールポイントとしている」

この催事の会場が幕張メッセという公共性の高い施設であるため、段差は一切なく、バリアフリートイレは十分にあり、車いす使用者にとってはそれだけで観客として参加しやすい。

次に、この催事における障がいをもつ観客の受け入れ、配慮についてである。

基本的には、障がいをもつ観客を受け入れる方針で、可能な限りサポートをするようにしているとのことである。

6つのステージがあり、それぞれにスロープがついた雑壇を設けて、車いす使用者が利用できるようにしている。

### 3) 大手プロモーター

大手プロモーターとは催事の企画、制作を行う業者のことで、催事の主催者になることもあるが、通常、主催者は別に存在し、企画、制作のみを行う場合が多い。ただ、今回調査対象に入れたのは、主催者よりも手がけている催事の数が多いので、障がい者の受け入れについて主催者にアドバイスをすることがあり、通常その分野の知識に乏しい主催者は、そのアドバイスを受け入れる可能性が高く、影響力が強いと判断したからである。

これまで培ったネットワークで、2社の大手プロモーターに調査を依頼したが、1社のみが調査に応じた。調査対象者は、株式会社ホットスタッフ・プロモーションの方である。

年間を通して多くの催事を企画、制作するが、障がい者の受け入れは主催者によって様々だという。

例えば、アリーナ<sup>7</sup>公演では演技場部分に特設されたアリーナ席を 100 席つぶして車いす

---

<sup>7</sup> アリーナ

一般には周囲に観客席のある競技場・演技場のこと。

席を設けたこともあるという。アーティストによって車いすの観客数を予想するということだ。

また、車いす使用者が観やすくするための雛壇を作ることになった時は、極力スロープを設けるのだが、会場のスペースや規制もあるため、着けられない状況も生じるという。

プロモーターが一度製作した雛壇は、同じ会場で別々の主催者によって何度か利用されることがあるという。

その他、駐車スペースの確保に悩まされるという。どうしても会場にある駐車場分しかなく、特別に設けることもできず、特に車いす使用者は大変な思いをしているのではないかと指摘していたのは、印象的である。

## ②催事の施設管理者への書面によるアンケート調査

本項では、舞台芸術の催事が開催される施設管理者に対して行った、書面によるアンケート調査の 1)調査の概要、2) アンケート調査票の内容、3)集計結果を示した。

### 1)調査の概要

インターネットの検索サイトで、コンサートホール、ライブハウス、イベントスペースというキーワードで検索し、各都道府県から 3 ないし 139 施設を調査先として選択し郵送先を調べた。

選択した本節 2)のアンケート調査票および料金後納（当方負担）の返信封筒を施設の管理者宛に郵送し、FAX、郵送により返信を受けた。

平成 26 年 2 月上旬に 644 施設に送信し、締切日の同年 2 月 19 日までに 310 施設からの回答があった。その後、同年 3 月上旬に追加して 156 施設に送信し同年 3 月 31 日までにさらに 56 施設の回答があった。これらを含めて合計 800 施設に送信し 366 施設から回答があり集計、分析の対象とした。回答率は、45.8%であった。

調査の内容の一部は、2 章 障がい者が舞台芸術の「表現者として演ずる」に関するものであるためここでは、集計、分析を行なわない。

表 1-1 : 会場アンケート調査概要

	2/19 締切	追加分(3/31 必着)	合計	回答率
送信数	644	156	800	45.8%
回答数	310	56	366	

なお、調査に協力した施設について回答があったものについて施設名をすべて、次に列記した。

表 1-2 : 会場アンケート調査 回答施設一覧

	都道府県	会場・施設名		都道府県	会場・施設名
1	長野	ALEOX	2	神奈川	BAYSIS
3	東京	BIG CAT	4	茨城	club SONIC mito
5	神奈川	CROSS STREET	6	栃木	Dining Bar Ken
7	東京	EX THEATER ROPPONGI	8	新潟	FM-NIIGATA OPEN-STUDIO 新潟LOTS
9	東京	Hakuju Hall	10	福井	HALLBEE
11	広島	HIROSHIMA BACKBEAT	12	大分	iichiko グランシアタ
13	※不明	JAMMIN'	14	大阪	knave
15	福岡	kokura FUSE	16	埼玉	KYARA
17	京都	KYOTO MUSE	18	和歌山	LIOVEHOUSE OLDTIME
19	千葉	LIVE HOUSE ANGA	20	奈良	Live House NEVERLAND
21	埼玉	Live Restaurant MOJO:MOJA	22	東京	NHKホール
23	大阪	NHKホール大阪ホール	24	青森	orange county
25	神奈川	POWERS2	26	宮城	Rensa
27	東京	SHIBUYA BURROW	28	千葉	Sound Stream sakura
29	東京	STUDIO COAST	30	東京	The Play House
31	東京	TOKYO DOME CITY HALL	32	東京	TSUTAYA O-EAST
33	東京	TSUTAYA O-WEST	34	愛知	Zepp Nagoya
35	大阪	Zepp Nmba	36	愛知	愛知芸術文化センター
37	福島	會津風雅堂	38	青森	フィリア・ホール (青森区民文化センター)
39	青森	青森市文化会館	40	青森	青森市民ホール
41	東京	赤坂BRITZ	42	秋田	秋田県民会館
43	秋田	秋田市文化会館	44	静岡	アクトシティ浜松
45	北海道	旭川大雪クリスタルホール	46	北海道	旭川市民文化会館
47	北海道	あさひサンライズホール	48	栃木	足利市民会館
49	広島	アステールプラザ	50	東京	シアター1010 (足立区文化芸術劇場)
51	兵庫	あましんアルカイックホール	52	大阪	アメリカ村CLAPPER
53	東京	サンパール荒川 (荒川区民会館)	54	長崎	アルカスSASEBO
55	福岡	アルモニーサンク北九州ソレイユホール	56	愛知	安城市民会館
57	三重	伊賀市文化会館	58	大阪	泉佐野市立文化会館
59	群馬	伊勢崎文化会館	60	三重	伊勢市観光文化会館
61	神奈川	伊勢原市民文化会館	62	千葉	市川市文化会館
63	岩手	一関文化センター	64	千葉	市原市市民会館
65	三重	いなべ市北勢市民会館	66	愛知	大山市民文化会館
67	茨城	茨城県立県民文化センター	68	茨城	いわき芸術文化交流館 アリオス
69	静岡	磐田市民文化会館	70	岩手	岩手県民会館
71	宇都宮	宇都宮市文化会館	72	大阪	梅田クラブアトロ
73	岐阜	恵那文化センター	74	北海道	恵庭市民会館
75	静岡	えんてつホール	76	青森	奥州市文化会館
77	大阪	大阪城ホール	78	大阪	大阪府立国際会議場
79	東京	大田区民ホール・アプリコ	80	群馬	太田市新田文化会館
81	愛知	岡崎市せきれいホール	82	愛知	岡崎市民会館
83	愛知	岡崎市竜美丘会館	84	岡山	岡山CRAZYMAMA KINGDOM
85	岡山	岡山市民会館	86	岡山	岡山シンフォニーホール
87	沖縄	沖縄市民会館	88	北海道	小樽市民会館
89	北海道	帯広市民文化ホール	90	東京	オリンパスホール八王子 (八王子市民会館)

91	三重	尾鷲市民文化会館	92	岐阜	各務原市民会館
93	香川	香川県民ホール	94	静岡	掛川市文化会館シオーネ
95	鹿児島	鹿児島県文化センター	96	鹿児島	鹿児島市民文化ホール
97	千葉	柏市民文化ホール	98	神奈川	神奈川芸術劇場
99	神奈川	神奈川県立音楽堂	100	石川	金沢市文化ホール
101	山形	河北町総合交流センター	102	愛知	蒲郡市民会館
103	茨城	神栖市文化センター	104	三重	亀山文化会館
105	埼玉	川口総合文化センター	106	埼玉	川越町あいあいホール
107	東京	紀尾井ホール	108	静岡	菊川文化会館アエル
109	福島	創空間 富や蔵	110	秋田	北秋田市文化会館 ファルコン
111	岩手	北上市文化交流センター さくらホール	112	岐阜	岐阜市文化センター
113	岐阜	岐阜市民会館	114	千葉	君津市民文化ホール
115	東京	きゅりあん(品川区立総合区民会館)	116	埼玉	行田市産業文化会館
117	京都	京都MOJO	118	京都	京都ROOTER ×2
119	群馬	桐生市市民文化会館	120	埼玉	久喜総合文化会館
121	北海道	釧路市民文化会館	122	埼玉	熊谷文化創造館
123	埼玉	熊本県立劇場	124	三重	クラギ文化ホール(松坂市民文化会館)
125	※不明	クラシカルスタジオカールン	126	岡山	倉敷市民会館
127	東京	クラブグッドマン	128	静岡	クリエート浜松
129	群馬	群馬音楽センター	130	群馬	群馬県民会館
131	千葉	京葉銀行文化プラザ	132	滋賀	びわ湖ホール
133	埼玉	埼玉県産業文化センタ	134	愛知	幸田町民会館
135	兵庫	神戸国際会議会館 国際ホール	136	福島	郡山市民文化センター
137	東京	国立劇場	138	東京	国立代々木競技場 第一体育館
139	埼玉	越谷EAST GOINGS	140	埼玉	越谷コミュニティセンター
141	静岡	御殿場市民会館	142	山形	コラニー文化ホール(山形県民文化ホール)
143	大阪	ザ・シンフォニーホール	144	静岡	ザールナートホール
145	埼玉	埼玉県熊谷会館	146	埼玉	さいたま市文化センター
147	埼玉	さいたまスーパーアリーナ	148	埼玉	彩の国さいたま芸術劇場
149	佐賀	佐賀市文化会館	150	山形	酒田MUSIC FACTORY
151	山形	希望ホール(酒田市民会館)	152	神奈川	相模原女子大学グリーンホール(相模原市文化会館)
153	北海道	札幌コンサートホール	154	北海道	札幌市民文化会館
155	北海道	サッポロファクトリーホール	156	栃木	佐渡中央文化会館
157	栃木	佐野市文化会館	158	栃木	佐野市文化会館
159	神奈川	座間市立市民文化会館(ハーモニーホール座間)	160	埼玉	狭山市市民会館
161	福井	サントーム福井	162	東京	サントリーホール
163	香川	サンポートホール高松	164	滋賀	滋賀県立文化産業交流会館
165	静岡	静岡音楽館	166	静岡	静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ
167	静岡	静岡市清水文化会館	168	群馬	渋川市民会館
169	島根	島根県民会館	170	熊本	市民会館崇城大学ホール(熊本市民会館)
171	青森県	下北文化会館	172	山口	下関市民会館
173	山口	周南市文化会館	174	新潟	上越文化会館
175	東京	新歌舞伎座	176	兵庫	新神戸オリエンタル劇場
177	東京	新宿URGA	178	東京	新宿区立新宿文化センター
179	東京	新宿JAM	180	東京	新宿FACE

181	東京	新宿レッドクロス	182	神奈川	新都市ホール
183	山口	シンフォニア岩国（山口県民文化ホールいわくに）	184	神奈川	新横浜BELL's
185	神奈川	逗子文化プラザホール	186	岐阜	関市文化会館
187	宮城	セキスイハイムスーパーアリーナ（宮城県総合運動公園総合体育館）	188	愛知	瀬戸市文化センター
189	宮城	仙台HOOK	190	宮城	仙台MACANA
191	宮城	えずこホール（仙台芸術文化センター）	192	宮城	仙台市泉文化総合センター
193	宮城	仙台市青少年文化センター	194	宮城	仙台市民会館
195	兵庫	太陽と虎	196	群馬	高崎市文化プラザかるぼーと
197	大阪	高槻現代劇場	198	香川	高松ダイム
199	岐阜	高山市民文化会館	200	岐阜	多治見市文化会館
201	兵庫	赤とんぼ文化ホール（たつの市総合文化会館）	202	東京	多摩市複合文化施設
203	東京	たましんRISURUホール（立川市市民会館）	204	神奈川	茅ヶ崎市市民文化会館
205	千葉	千葉LOOK	206	千葉	千葉県南総文化ホール
207	千葉	千葉県東総文化会館	208	千葉	千葉県文化会館
209	愛知	中日劇場	210	茨城	つくばカピオ
211	三重	ハーモニーホール（津市サンヒルズ安濃）	212	愛知	ザ・コンサートホール（電気文化会館）
213	千葉	東金文化会館	214	山梨	東京エレクトロン韮崎文化ホール
215	東京	東京オペラシティコンサート	216	東京	東京芸術文化会館さきら
217	東京	東京ビッグサイト（東京国際展示場）	218	東京	東部地域振興ふれあい拠点施設
219	岐阜	土岐市文化プラザ	220	徳島	徳島県立産業観光交流センター
221	埼玉	ミュージズアークホール（所沢市民文化センター）	222	佐賀	鳥栖市民文化会館
223	埼玉	戸田市文化会館	224	栃木	栃木県総合文化センター
225	鳥取	鳥取県立倉吉未来中心	226	鳥取	とりぎん文化会館（鳥取県民文化会館）
227	東京	トッパンホール	228	三重	鳥羽市民会館
229	北海道	苫小牧ELLCUBE	230	富山	富山県民会館
231	愛知	豊明市文化会館	232	愛知	豊川市御津文化会館
233	愛知	豊川市小坂井文化会館	234	愛知	豊田市コンサートホール・能楽堂
235	静岡	長泉町文化センター	236	新潟	長岡市立劇場
237	新潟	長岡リリックホール	238	長崎	長崎市公会堂
239	長野	長野県県民文化会館	240	長野	長野松本文化会館
241	長野	長野ライブハウスJ	242	愛知	名古屋クラブアトロ
243	愛知	名古屋市熱田文化小劇場	244	愛知	名古屋芸術創造センター
245	愛知	名古屋市公会堂	246	愛知	名古屋青少年文化センター
247	愛知	吹上ホール（名古屋市中企業振興会館）	248	愛知	名古屋文理大学文化フォーラム（稲沢市民会館）
249	栃木	那須塩原黒磯文化会館	250	宮城	名取市文化会館
251	奈良	なら100年会館	252	千葉	習志野文化ホール
253	新潟	新潟アルサ（新潟勤労者総合福祉センター）	254	新潟	新潟県民会館
255	新潟	新潟市西新潟市民会館	256	新潟	新潟市民芸術文化会館
257	愛媛県	新居浜ジャンドル	258	愛知	日進市民会館
259	愛知	名古屋市民会館（日本特殊陶業市民会館）	260	東京	日本武道館
261	静岡	沼津市民文化センター	262	宮城	ノータブランカ
263	秋田	能代市文化会館	264	宮城	延岡総合文化センター
265	福岡	博多座	266	北海道	函館市民会館
267	岐阜県	羽鳥市文化センター	268	静岡	羽生市産業文化ホール
269	静岡	浜松FORCE	270	静岡	浜松市天竜壬生ホール

271	東京	原宿クエストホール	272	埼玉	東松山市民文化センター
273	東京	ヒカリエホール	274	埼玉	随川市民ホール（さいたま文学館）
275	滋賀	ひこね市文化プラザグランドホテル	276	茨城	日立シビックセンター
277	茨城	日立市民会館	278	東京	文京シビックホール（響きの森文京公会堂）
279	愛媛	ひめぎんホール	280	兵庫	姫路市文化センター
281	兵庫	兵庫県立芸術文化センター	282	大阪	ビルボードライブ大阪
283	青森	弘前市民会館	284	広島	広島クラブクアトロ
285	広島	広島芸術文化ホール（上野学園ホール）	286	広島	広島県立総合体育館
287	広島	広島サンブラザ	288	広島	広島市文化交流会館
289	大阪	フェスティバルホール	290	福井	フェニックス・ブラザ
291	福岡	福岡サンパレスホテル&ホール	292	福岡	福岡市民会館
293	福岡	福岡シンフォニーホール	294	福岡	福岡県文化センター
295	福島	福島市音楽堂	296	福島	福島市公会堂
297	福島	福島テルサ	298	富山	富野文化創造センター
299	広島	福山Cable	300	広島	ふくやま芸術文化ホール
301	静岡	袋井市メロブラザ	302	静岡	富士市文化会館
303	埼玉	富士見市民文化会館 キラリふじみ	304	東京	府中FIGHT
305	東京	府中の森芸術劇場	306	東京	ブルーノート東京
307	神奈川	プレミアホール	308	愛知	碧南市文化会館 碧南市芸術文化ホール
309	北海道	別府国際コンベンションセンター（B-COMPKAZA）	310	北海道	別府市公会堂
311	北海道	ベニーレーン24	312	愛知	徳の国とよはし芸術劇場 プラット
313	石川	本多の森ホール	314	千葉	舞浜アンフィシアター
315	千葉	幕張イベントホール（幕張メッセ）	316	北海道	帯別町百年記念ホール
317	東京	町田市市民ホール	318	北海道	まなみーる 岩見沢市民会館
319	兵庫	三木市文化会館	320	埼玉	美里町文化会館
321	静岡	三島市民文化会館	322	茨城	水戸芸術館
323	福島	南会津町文化ホール（御蔵入交流館）	324	新潟	南魚沼市民会館
325	福島	南相馬市民文化会館	326	宮城	宮城県民会館
327	宮城	富崎市民文化ホール	328	福岡	宗像ユリックス
329	北海道	室蘭市文化センター	330	岩手	盛岡市都南文化会館
331	岩手	盛岡市民文化ホール	332	静岡	森町文化会館
333	滋賀	守山市民文化会館	334	北海道	紋町市民会館
335	静岡	焼津市大井川文化会館	336	静岡	焼津文化会館
337	群馬	矢中町文化会館	338	山形	山形県郷土館 文翔館
339	山形	山形市民会館	340	山形	山形テルサ
341	山形	やまぎんホール（山形県民会館）	342	奈良	さざんかホール（大和高田文化会館）
343	北海道	大和リース株式会社札幌市民ホール	344	東京	ヤマハホール
345	秋田	湯沢文化会館	346	神奈川	横須賀芸術劇場
347	神奈川	横浜市磯子区民文化センター	348	神奈川	横浜市民文化会館（関内ホール）
349	鳥取	米子コンベンションセンター	350	山形	米沢市市民文化会館
351	東京	ライブハウス チェルシーホテル	352	埼玉	ライブハウス浦和ナルシス
353	埼玉	ライブハウス北浦和エアーズ	354	東京	ライブハウスケントス
355	宮城	ライブホールdarwin	356	埼玉	ライブミュージック&レストランバー SHOCK-ON
357	茨城	龍ヶ崎市民文化会館	358	愛知	リリオ・コンサートホール
359	兵庫	ワールド記念ホール（神戸ポートアイランドホール）	360	和歌山	和歌山県民文化会館
361	和歌山	和歌山ビッグホエール	366		※会場・施設名不明が5件

## 2) アンケート調査票の内容

アンケート調査票の内容は次ページのとおりである。